



# まちなみ・まちかど

この分野は、「まち」に関わる要素のうち、人々が住む市街地における建物や空間などを一体として考える「まちなみ」や、ちょっとした小空間、個別の建物の状況を意味する「まちかど」を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

### 【広場】

緑にあふれ、老いも若きもふれあえ、  
にぎわえる広場がある

### 【商業地】

親しみがあり、五感を揺らす魅力ある  
商店が建ちならんでいる

### 【景観】

親しみのある路と  
やすらぎのあるまちなみが続いている

### 【文化的活動空間】

文化や芸術、スポーツを  
身近に感じられる空間がある



## ■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
G 1	歴史・文化を感じられる建物等指定数	—	件	10	100
G 2	まちなみ保存地区数	—	地区	1	3
G 3	1人当たりの公園・緑地面積	9.7	m <sup>2</sup>	10	10

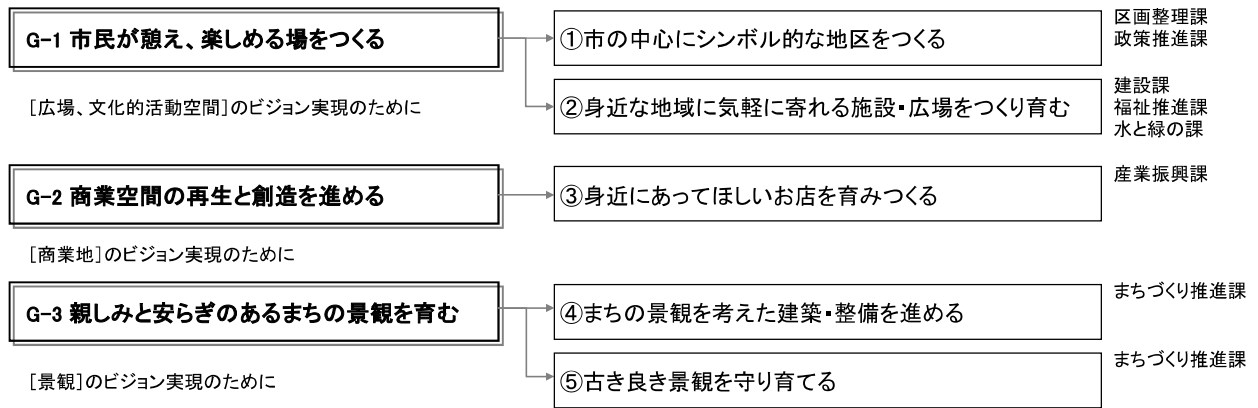
[検討・把握する環境指標] 特定の公園利用者数、市民会館・スポーツセンター・図書館等の利用者数

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



G-1 市民が憩え、楽しめる場をつくる

日進駅から市役所周辺にかけての地区における拠点（＝市の中心核）づくりを通して、市民が憩え、様々な文化的活動を楽しめる場をつくっていきます。同時に、気軽に立ち寄れる施設や広場を地域につくり、育てていきます。

【施策メニュー】

- ① ★市民会館・スポーツセンターなどの施設間を結ぶ遊歩道の整備、★市民サロンやイベントを通して市民や学生が交流を持てる場の創造、★イベントを企画・運営する組織づくり、☆図書館の新設と情報交流拠点としての活用
- ② 公民館・福祉会館・学校などの設備充実と有効活用、既存の公園の魅力向上、市の管理する緑地の開放、民有林の市民緑地化、市民による緑地愛護会の育成、空き家の改装による公共施設化



▲市の中心部にあるスポーツセンター

## G-2 商業空間の再生と創造を進める

身近な商業空間は、人々が集まりにぎわいのある空間として、地域の広場的な要素を持っています。そのために、市民や学生主体の店の経営といった地域のニーズに応じた循環型の経済をつくるとともに、身近な商店とその周辺環境の再生と創造を進めていきます。

【施策メニュー】

- ③ 市民や学生主体の店の経営支援、日進特産品の店など個々の店に特徴や味が感じられるお店の誘致や創造、緑日の開催、イベント空間・情報ステーション等の整備、土・花・果実・香り・味・歩行優先など五感を揺らす商業空間の創造、環境に配慮したお店（リサイクルショップ・エコ商店など）の誘致や創造

## G-3 親しみと安らぎのあるまちの景観を育む

日進には日進の風景や色があります。それは緑の田園風景であったり、昔ながらのまちなみであったり、そうした景観は親しみと安らぎを感じさせます。そうした今あるすぐれた景観を保全するとともに、新しい日進の顔となる景観を育てていきます。

【施策メニュー】

- ④ 地区計画による地域のまちづくりの推進、すぐれた景観のPR、★歴史・文化を感じられる建物等百選の実施、☆景観基本計画の策定
- ⑤ ★細い路地など歴史を感じる昔ながらのまちなみの保存・活用・PR、史跡や文化財の保存



▲ため池も活用した野方三ツ池公園



▲赤池のみそ蔵を活用したギャラリー

# H. みちと足

この分野は、「まち」に関わる要素のうち、特に道路、歩道、自転車道など人が移動する空間である「みち」と、移動手段を意味する「足」のうち誰でも利用できる公共交通を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

### 【道】

歩車道の整備が充実し  
自然にも人にもやさしい道が続いている

### 【歩行空間】

街路樹や沿道の植物に親しみを覚え、  
歩きくなる路が続いている

### 【公共交通】

魅力ある公共交通機関に  
自然と市民が集まり、  
便利で快適な移動ができる



## ■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
H 1	幹線道路の歩道整備率	69	%	72	75
H 2	リユース自転車貸し出しステーション数	—	箇所	5	20

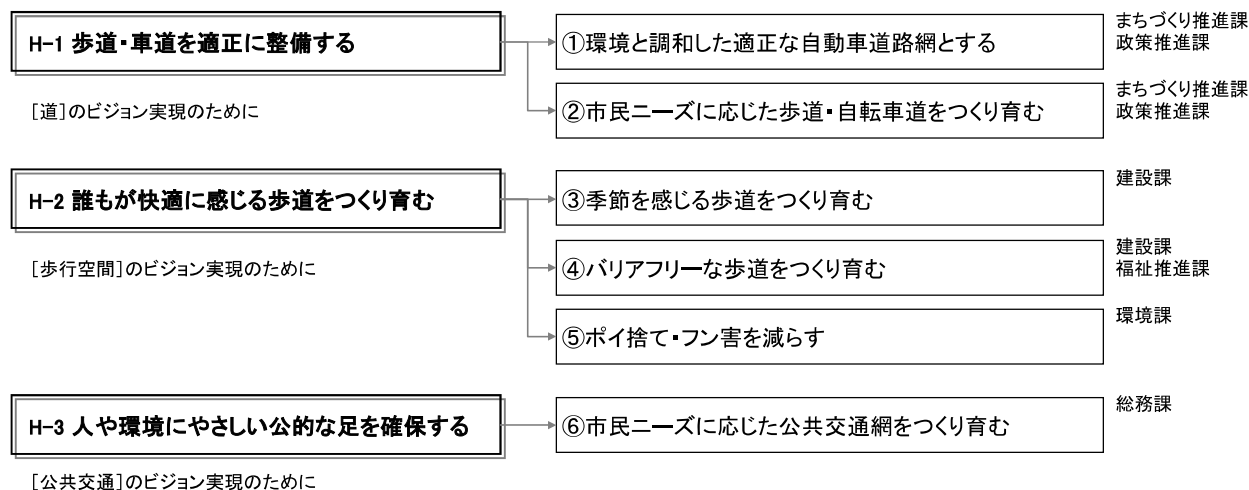
[検討・把握する環境指標] くるりんばす利用者数、自転車・歩行者事故発生件数

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



H-1 歩道・車道を適正に整備する

大気環境保全のために渋滞緩和と通過交通をスムーズにし、かつ環境と調和した適正な自動車道路網を整備していきます。さらに、車に頼らない移動交通手段として徒歩と自転車利用を進めるとともに、そのニーズを喚起するような歩道や自転車道を整備していきます。

[施策メニュー]

- ① 渋滞箇所の解消策の推進
- ② ★歩行者や自転車にやさしい歩道ネットワークづくり、★駅周辺・学校・商業地における歩道の整備・管理、☆天白川や岩崎川を軸とした「水と緑」の歩行者・自転車道ネットワークの形成



▲歩道や街路樹が整備された道路



▲市役所を起点に市内を巡る「くるりんばす」

## H-2 誰もが快適に感じる歩道をつくり育む

歩道の量的な整備がまず求められますが、整備する際には、植栽帯などを活用した季節感の演出、障害者や高齢者などに配慮したバリアフリー<sup>29</sup>に配慮していきます。また、ポイ捨てやフン害のない歩道にし、誰もが快適に感じる歩道をつくり育てていきます。

[施策メニュー]

- ③ 樹種や日向日陰などを考慮した親しみのわく街路樹の整備、街路植栽帯の市民管理の推進、住宅の緑地とのコーディネート、自然の音環境の保全、アスファルトでない舗装<sup>30</sup>の採用
- ④ ★十分な歩道スペースの確保、歩道への移動式プランターの設置など路上駐車防止、段差解消などバリアフリー化の推進、看板・置物による通行障害の解消
- ⑤ フン害・ポイ捨て防止策の検討

## H-3 人や環境にやさしい公的な足を確保する

市民の市内の移動手段は、多くの人が自家用車に頼っています。大気環境保全やエネルギー資源の保全のためにも人や環境にやさしい公共交通機関を充実させていきます。

[施策メニュー]

- ⑥ 大学等のスクールバスの利用など公共交通手段の拡大、★くるりんばすの市民ニーズの調査、★東部丘陵線（H S S T）<sup>31</sup>への有効なバス路線の確保、☆公共交通網の維持発展を図るための検討、☆地下鉄東部線・東部丘陵線早期建設の推進、☆鉄道3駅へのバスアクセスの強化、☆パークアンドライド<sup>32</sup>・キスアンドライド<sup>33</sup>需要への対応、☆バス停付近の環境整備、☆くるりんばすと名鉄バスによる新たなルートの設定、☆近隣市町の巡回バスの相互乗り入れの検討



▲国道153号をアンダーパスする歩道・自転車道

<sup>29</sup> 段差の解消、点字ブロックなどの障害者や高齢者などの物理的障壁（バリア）を除去すること。

<sup>30</sup> 間伐材を使った透水性や弾力性のあるウッドチップ舗装、吸水・保水機能のある吸水性自然砂樹脂舗装など。

<sup>31</sup> 2005年春開業予定の地下鉄藤ヶ丘駅から愛知環状線八草駅までを結ぶ路線。磁気浮上式システムで、車輪がなく、磁気で浮上し、リニアモーターで推進するので、騒音・振動などの公害問題も解消。低コストで建設でき、優れた性能と経済性を持つ。

<sup>32</sup> 自宅から最寄り駅まで自分で自家用車を運転し、駅周辺に車を駐車して、そこから都心部まで電車等の公共交通機関を利用する交通手段のこと。自家用車の利便性と大量高速輸送機関である鉄道の双方の利点を生かした結合輸送の一種。

<sup>33</sup> 「パークアンドライド」に類して、最寄り駅まで家族に自家用車で送ってもらい、そこから電車等へ乗り継ぐ交通手段のこと。

# 1. 暮らし全般・エネルギー

この分野は「ライフスタイル」に関わる要素のうち、暮らしに対する根本的な価値観や生き方、エネルギー利用、移動手段など日常生活におけるあらゆる環境配慮に関する行動・行為を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

### 【暮らし全般】

便利だけを追求せず、  
環境のことを考えて、できることから実行している

### 【生き方】

きれいな空気の中で、  
おいしい水や食べ物に恵まれて  
幸せな時間を過ごしている

### 【エネルギー】

省エネの生活を心がけ、  
地球温暖化の防止に協力している

### 【交通手段】

自転車などの環境負荷の少ない  
移動方法を選択している



## ■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
11	環境にやさしい行動実行率 (10の行動)	40~68	%	各行動実行率 5%向上	各行動実行率 10%向上
12	エコライフ宣言者数	-	人	500	3,000
13	1人1日当たりの水道使用量	327	L	310 (5%減)	295 (10%減)

[検討・把握する環境指標] 1人1日当たりの電気使用量、ガス使用量、ガソリン使用量、太陽光発電導入世帯数

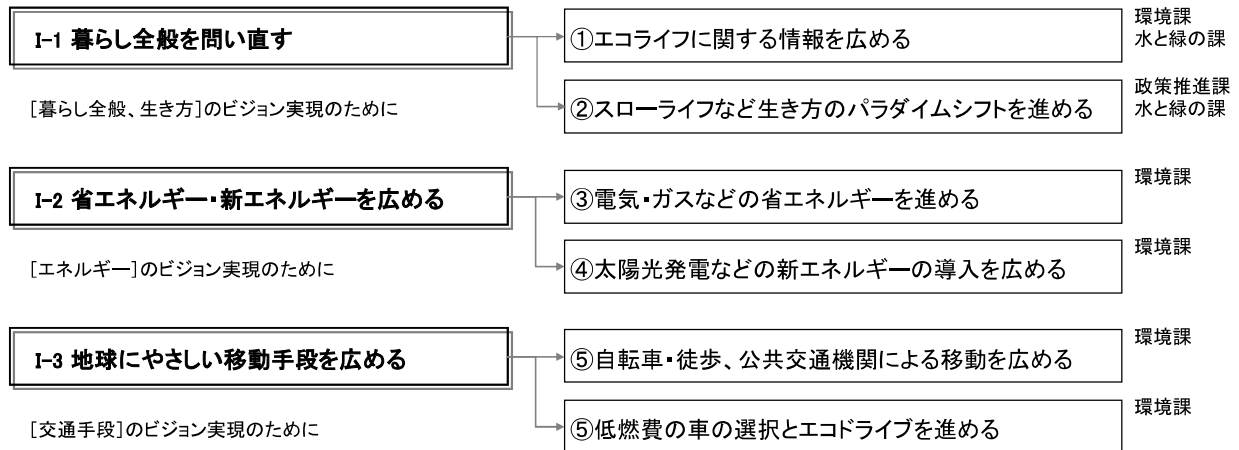


「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



## 環境まちづくりプログラム

### ■ 施策の体系 ■



### I-1 暮らし全般を問い直す

あわただしい生活を見直し、ゆったり豊かな生活を楽しもうというスローフード<sup>34</sup>、スローライフ<sup>35</sup>という概念が最近出てきています。こうした価値観を大きく転換（パラダイムシフト<sup>36</sup>）し、自らの暮らしを環境に配慮したものとなるよう根本的に変えていくことを促進します。

[施策メニュー]

- ① ★エコライフ虎の巻の作成と普及、★エコ生活カルタの作成と活用
- ② ★エコファミリー登録制度のリニューアル、★今の生活と昔の生活を環境の面から考える機会の創出、家族で自然や環境、健康について話す時間の創出、★スローライフ・スローフードなど21世紀の豊かさの提言

<sup>34</sup> 北イタリアの小さな町で生まれた、その土地の伝統的な食材や調理法を大切に、昔からの味、食の多様性を守っていかうという運動。伝統的な食材や料理の保護、質の良い素材を提供する小生産者の保護、味覚教育が3つの活動方針である。

<sup>35</sup> 現在の大量生産・大量消費型の息せき切った生活から、文化・空間・時間を味わいながら人間らしい生活を志向すること。

<sup>36</sup> 人々の考え方の根本的な変化。旧様式から新様式への劇的な交代。



## 1-2 省エネルギー・新エネルギー<sup>37</sup>を広める

地球温暖化の主な原因は、電気、ガス、燃料などのエネルギー消費による二酸化炭素です。そのため、地球に優しいライフスタイルとして、省エネルギーを進めるとともに、二酸化炭素排出量の少ない新エネルギーの普及を進めていきます。

【施策メニュー】

- ③ 省エネルギー方法の普及、★省エネナビ<sup>38</sup>の普及、環境家計簿の提案、★省エネ生活の情報交換会の開催
- ④ 自然エネルギーを気軽に体験できる機会の創出、自然エネルギーの簡易キットによるPR、太陽光等新エネルギー利用のメリット調査と普及、新エネルギー導入に対する補助制度の創設

## 1-3 地球にやさしい移動手段を広める

移動に伴う環境への影響は、地球温暖化、大気汚染、交通騒音など様々な面に現れてきます。特に、自家用車による移動が大きな影響を与えていることから、自転車や公共交通機関など地球にやさしい移動手段を広めていきます。

【施策メニュー】

- ⑤ 自転車使用と車使用での環境負荷と健康の比較調査とPR、歩道・自転車道・自転車置き場の整備・充実、自転車移動のための近道の整備、自転車の乗り方マナーの徹底、★レンタルリース自転車の導入、ルート・本数・料金など公共交通機関の充実、★ノーカーデーの実施、イベント時のくるりんばすの無料化
- ⑥ ★アイドリングストップなどエコドライブの普及、電気自動車・燃料電池車の普及促進

<sup>37</sup> 太陽光発電、ごみ焼却排熱など従来のエネルギーに代わる再生可能、リサイクル型、高効率のエネルギーのこと。

<sup>38</sup> 家庭の電力使用量、電気料金、二酸化炭素排出量、省エネ達成率を表示する装置。目標の電気料金を上回ると警告が表示されるので、目標を持った省エネ行動ができる。